

## カカンポン王国からの使者

## 1 対象

小学校4年生～6年生、中学生

## 2 ねらい

言葉の通じにくい相手とのコミュニケーションを疑似体験し、自分と異なる文化や考え方を持った人との関わりにおいて、想像力を働かせ、違いを否定せず相手を尊重する態度を育てる。

## 3 準備するもの

- ワークシート
- 王国のおきてカード（二つ折りで中が見えないようにする）
- （必要に応じて）カカンポン王国をイメージできる装飾や服装（白い服を羽織るなど）

## 4 解説

「カカンポン王国」という架空の国を設定し、その国の人との関わりを疑似体験することで、多文化理解を深めるワークです。架空ではありますが異文化に触れることで、違いに対する戸惑いや、それによる排除につながる構造に気づき、多文化共生の在り方を主体的に考えることにつながります。

実施にあたっては、特定の国や民族など、実在の集団と結びつけないこと、差別的な発言が出た場合は、その場で指摘し、その発言が出た背景を丁寧に問い返すことが必要です。また、全て架空の設定のため、授業後にこの設定を引きずらないよう、学級において確認をするようにしてください。

## 5 教科などとのつながり

特別活動 など

## 6 進め方（展開例） 45分または50分

時間	学習の流れ（活動・内容）	留意事項	資料など
導入 5分	<p>◆学習の確認（5分）</p> <p>①授業の流れや留意点の説明を聞く。</p> <p>②場面設定を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>❖カカンポン王国（架空）から日本に派遣された人たちが、学校に来てくれている。</li> <li>❖カカンポン王国の人たちは日本語を話せないが、ある程度聞き取ることができる。</li> <li>❖これから各グループにカカンポン王国の人が一人ずつ入り、交流する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の流れを説明する。</li> <li>・P4〔学習の約束〕を伝える。</li> <li>・場面設定に現実味を持たせて説明する。</li> <li>・「カカンポン王国」というのは架空の設定であることに留意する。</li> <li>・敬意を持って接するよう伝える。</li> </ul>	
	<p>◆アクティビティ（小33分、中38分）</p> <p>①5～6人のグループをつくり、代表を1人決める。全グループの代表者が決まったら、代表者は集合する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下など、代表者以外に話が聞こえない場所に集合させる。</li> <li>・代表者がカカンポン王国の人の役になることを、ここで伝える。</li> </ul>	

<p>展開 小学校 33分 中学校 38分</p>	<p>②各グループの代表者以外の児童・生徒は、カカンポン王国の人にインタビューする内容を2つ程度考える。</p> <p>③質問を考えている間、各グループの王国の人役は廊下で「王国のおきてカード」を読み、インタビューに答える際のルールを覚える。</p> <p>④王国の人役が各グループに戻る。教師の【セリフ】を聞き、王国の人役がそれぞれのグループで名前を言う。</p> <p>⑤グループ員が順番に質問をする。王国の人役は「王国のおきてカード」のルールに従って答える。</p> <p>⑥全員のインタビューが終わったら、どのようなルールだったのかを聞く。</p> <p>⑦ワークシートの1と2を書く。</p> <p>⑧⑦をグループで伝え合う。</p> <p>⑨質問者がルールを理解した上で、2回目のインタビューをする。</p> <p>⑩ワークシートの3を書く。</p> <p>⑪⑩をグループで伝え合う。</p>	<p>・「はい」または「いいえ」で答えられる内容にするよう伝える。</p> <p>・個人で考えるのが難しい場合、グループで相談してよいことを伝える。</p> <p>・「王国のおきてカード」を配付し、ルールを説明する。</p> <p>・全ての王国の人役がルールを十分に理解したことを確認する。</p> <p>・【ルール③】については、教師がグループごとにアドバイスするとよい。</p> <p>【セリフ】 「では、私から名前を質問します。名前を言ってもらったら、各グループでインタビューをはじめてください。『マサナミ イサダク テエシオ エマナカポン？（名前をおしえてください）』」</p> <p>・質問者と王国の人役の両方とも、困ったときは教師を呼ぶように伝えておく。</p> <p>・教師の指示により、各グループ同時に実施する。</p> <p>・「無視されて嫌だった」「悲しい気持ちになった」など、否定的な意見が出てよい。</p> <p>・相手のことをよく知らなかったり、自分の考えと違ったりすると、心が穏やかでなくなり、態度が悪くなることもあることを振り返らせる。</p> <p>・ルールを知ることによりよい雰囲気できりとりできることに気づかせたい。</p>	<p>・王国のおきてカード</p> <p>・ワークシート</p>
<p>まとめ 7分</p>	<p>◆まとめ（7分）</p> <p>・授業の感想や考えたことを書く。</p> <p>・まとめの話を聞く。</p>	<p>・授業をとおして出された考えや記述をもとに、ねらいをおさえ、まとめる。</p> <p>・この活動は架空の設定であり、授業後にこの設定を引きずらないことを確認する。</p>	<p>・ワークシート</p>
<p>・相手の文化や考え方を理解することで、より相手に思いやりを持ち、尊重して接することができる。まずは相手を理解しようとするのが大切である。</p>		<p>・自分と異なる文化や考え方を持った人との関わりにおいて、想像力を働かせ、違いを否定せず相手を尊重することが大切である。</p>	

# カカンポン王国からの使者

( )年 ( )組 ( )番 名前 \_\_\_\_\_

- 1 最初のインタビューのとき（質問者がルールを知らないとき）に感じた自分の気持ちを書きましょう。

- 2 質問者：王国のおきて（ルール）を知ったときに思ったことを書きましょう。  
 王国の人：王国のおきて（ルール）を伝えたときに思ったことを書きましょう。

- 3 2回目のインタビューのとき（質問者がルールを知っているとき）に思ったことや感じたことを書きましょう。

- 4 今日の授業の感想や考えたことを書きましょう。

## カカンポン王国からの使者【王国のおきてカード】

- あなたは、カカンポン王国の人の役です。
- あなたの名前は「（自分の名字または下の名前を逆に読む）」です。
- あとで先生が「マサナミ イサダク テエシオ エマナ カポン？」と言ったら、グループの人に「（名前） カポン」と言ってください。そうしたらインタビューが始まります。
- 次に、ルールを3つ覚えてください。

### 【ルール①】

返事は、「はい」か「いいえ」の2つです。

「はい」の場合は、うなずきながら「カカン」と言ってください。

「いいえ」の場合は、首を横にふって「ンポン」と言ってください。

### 【ルール②】

次のように感じた場合は、何も反応をしない（返事をしない）でください。

○態度がえらそう    ○ばかにされている    ○嫌な質問だ    ○嫌な感じがする

### 【ルール③】

あなたが、次の（1）～（3）から1つ選んでください。

（1）大きな声の人の質問には返事をしない。（ふだんおだやかに生活しているの  
で、大声がこわい）

（2）はやく話す人の質問には返事をしない。（言葉が聞き取れない）

（3）ある色（黒など、自分で決めた色）を身につけている人の質問には返事をしな  
い。（その色がこわい）※自分が身につけていない色にしよう

この3つのルールは、あなただけが知っています。  
先生からの指示があるまで、教えてはいけません。